

くじけず、努力

前田 雪那

みなさんはこれまで、努力してきたことやがんばり続けてきたことはありますか。だれでも、一つや二つはあると思います。私は、その努力という言葉について考えてみました。

私がこれまで努力し続けてきたことは、ピアノです。自分の中では完ぺきにひいているつもりでも、ピアノの先生に、強弱ができていない、ピアノのひき方が分かっていないなど、何度も指摘され続けてきました。最近そんな日々が何度も続き、ストレスを少し感じながら過ごしていました。

そんな時、お母さんにこんな言葉を聞きました。

「百回叩けば突破できる壁があっても、九十九回であきらめてしまう人がいる。その人は今までの努力をかけてきた時間が無駄に終わってしまう。」

これは、元テニスプレイヤーの松岡修造さんの言葉です。松岡さんは、世界の大会で優勝や準優勝、ベスト八などの素晴らしい成績を収めたそうです。世界でもとても強かった選手の言葉だし、人一倍努力して、練習もして、自分と向きあってきたはずの松岡さんだから、説得力のある言葉だと思います。他にもたくさん試合に出て、良い成績ばかりじゃなかったそうだし、くじけずにがんばってきた人なんだと思います。

私も松岡さんのように、小学一年生からの六年間がんばってきたピアノを、最後まで努力したいです。そして、

「百回叩けば突破できる壁」

を目指して、くじけずやりとげたいです。